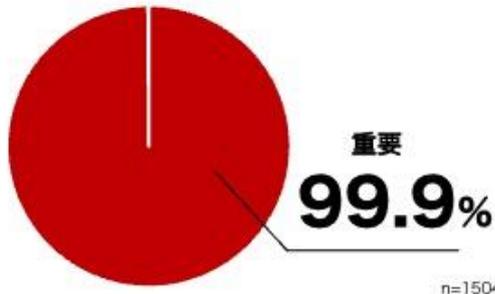


## 教職員がLGBTQについて学ぶ必要性と経験

教職員がLGBTQについて知ることは、重要だと思いますか？



LGBTQの子どもの課題や適切な支援について、学んだ経験



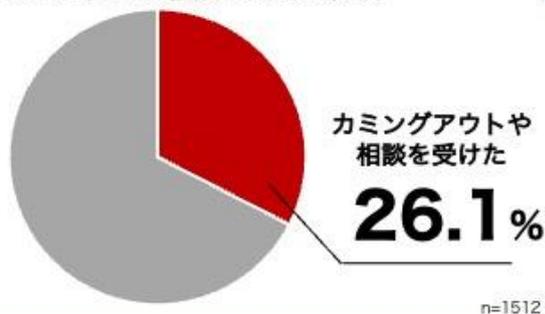
教職員の99.9%が「教職員がLGBTQについて知ることは重要」であると回答。一方で、教員養成課程で学んだ経験は僅か13%であり、教員になる前に学ぶ機会が不足。

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年6月1日～2023年3月31日 ＜調査方法＞出張授業時に回答収集  
＜総回答数＞教職員157回答、生徒12,162回答 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

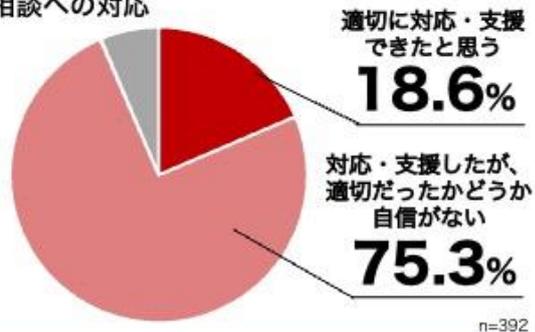


## 児童生徒からのカミングアウトや相談と対応の経験

児童生徒からのカミングアウトや、LGBTQに関わる相談を受けた経験



児童生徒からのカミングアウトや相談への対応



児童生徒からのカミングアウトやLGBTQに関わる相談を受けた教職員は26.1%。うち、「適切な対応・支援ができたと思う」教職員は僅か18.6%。

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年6月1日～2023年3月31日 ＜調査方法＞出張授業時に回答収集  
＜総回答数＞教職員157回答、生徒12,162回答 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit



2023年5月23日 参議院文教科学委員会 れいわ新選組 船後靖彦

出典：認定 NPO 法人 Rebit 学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査  
(<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000046.000047512.html>)